

町内会発足30周年記念誌

醍醐 御霊ヶ下・大構町

## ごあいさつ



御霊ヶ下・大構町 町内会長

佐治 正雄

このたび、私達の町内会、御霊ヶ下・大構町は町内会発足30周年を迎えました。くしくも今年は西暦2000年にあたり、二重に記念すべき年となり、みなさまと共に喜び合えることができますことを光栄に存じます。

昭和46年に110世帯で発足いたしました町内会も、現在では390世帯となりました。その間さまざまなことがありました、特に地域の結びつきを強くするためには多くの計画と実行が必要でした。そして、歴代の役員さん、組長さんそして会員のみなさまの熱心な活動と温かいご理解、ご協力のおかげで今日の発展した町内会が築かれたものと確信しています。

これからも「おはよう、こんにちは」と、お互いに挨拶できる人間関係を大切にしながら、安心して住み続けられる町内にするため、みなさまと共に21世紀へのスタートをきろうではありませんか。

21世紀には社会の高齢化が進み、さまざまな課題への対応が求められます。それらを解決していくためにもまず、町内会活動の拠点となる「自治会館」の建設が必要と考えています。もう一つは町内に潤いと憩いの場を作りたいと考えています。町内には昔から醍醐山からの伏流水が絶えることなく湧き出しているのをご存じでしょうか、これを利用して「魚が住む小川」を創出したいと考えています。これらを21世紀の夢ではなく現実のものとするために、早期にみなさまと共に考え行動ができればと願っています。

30周年を基に、子どもたちが自分達の故郷として地域を受け継いでいくためにも、御霊ヶ下・大構町に住んで良かった、また、住みたいと言われる町にしようではありませんか。

終わりになりましたが、醍醐地域の多くの方々、特に、池田、池田東学区のみなさまには物心両面にわたり、ご協力ご指導いただきましたことにお礼を申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

平成12年12月





万千代川の堤防下を走る少年。S53。千種氏提供。

ここに住んだ限りは、絶対ややこしいものを建てて欲しくない。どちらかというとマンションも嫌で、基本的にはずっと反対してきたわけです。最初の宅地造成の業者が良かったから、そこそこ統一された町並みになりました。その間に、外環状線のところにパチンコ屋をつくるという話が出てきましたが、絶対に町並みに合わないと反対しました。パチンコ屋をするという人を私の家に呼んで怒ったら、それからは「絶対しません」と言ってきました（笑）。それにしても、地元の人とのトラブルには苦労しました。というのは、地元と喧嘩しても、結局はずっと住まなければならない。私はいつも醍醐の中での一体化ということを考えていました。

うちの町内は新興で地元の人はいません。全くの新興住宅地ですので、一番苦労したのはそこからの始まりですね。それと地域とうまく関わられるかということ。そこで、私が最初に副会長として昭和53年に町内会に出てきた時に、まず親睦を図らなければどうしようもないということで、「会った時に知らん顔ではなくて『おはよう』くらい言いましょ」と、それから一貫して言ってきたわけです。そうしたら、だんだんと「おはよう」とお互い挨拶をするようになってきました。それからだんだん顔がわかってきました。

「挨拶」の次には何を考えられましたか？

まずクラブを作ろうと考えました。回覧をま



外環池田町バス停から山科方面の風景。S53。千種氏提供。

わして、「囲碁の会」だとか、「盆栽の会」とかの会員を募集したんですが、ポツポツとは回答があったのですが、組織立って出来るほどではありません。そこへ出来てきたのが、「ソフトボール同好会」です。ソフトボールを通じて仲間が出来て、そこで一つの大人同士の付き合いができたんです。そうして、「同好会」が柱になってきて、いろんな行事に参加してもらおうようになり、行事に欠かせなくなってきました。ただそれ以後は、趣味の会は育ちませんでした。私達の育て方が悪かったのかもしれないんですが、結局は、町内に引っ越してこられて、会社の仕事が忙しくて町内には出られないという方が多かったんじゃないでしょうか。私はどちらかというと表に出て行く方でしたから、余計に目立ったんだと思います。そしてこちらに来る前から醍醐の地元の方を知っていたものですから、「私がやっているんだが...」と言うと、「それなら応援してあげる。誰が文句を言っているんだ」という具合になることもありました（笑）。



厚生会駐車場前付近から東北方向を臨む。S55。三好氏提供。

### 池田児童館と集会所設立は大きな出来事

当時、池田小学校はマンモス小学校で1000人位いたでしょうか。プレハブを建てて、運動場が無くなってきたような状態でした。池田小学校は新興住宅の子供ばかりが集まったので、「子供の建物が欲しい」ということで児童館をつくりました。そのときに町内としても一定の役割を果たしたという経過があるんです。つまり、他の地域では行政が直接的に関わるようですが、私達の児童館は、「京都市から補助をもらって建てる。そして運営は地元です。」という半官半民の形をとりました。今もその方法は続いています。開館当初の児童館には、うちの町内の方が関わっておられました。この方はケン玉が好きで、ケン玉を通じていろいろ取り組まれました。ギネスブックに挑戦などという子供たちも大勢出てきて、新聞で紹介されるほど有名だったんですが、その方は残念なことに児童館をやめられ、私もそのあと長い間お世話させて頂き、苦労もありましたが、地域活動の一つとして良い経験が出来ました。

### 町内の親睦を図るための工夫について

昭和46年の町内会発足当初、8組からスタートして24組になり、さらにどんどん人が増えてくる。私は昭和53年に副会長になり、当時の町内の運営方法について改善の必要性を感じていました。新興住宅地だから情報を末端まで行き渡らせるにはどういった方法が良いかということを考えました。そこで、組とブロック別にし、長を置けば、そこから連絡体制ができるだろうと、A・B・Cというブロック制を作ったわけです。

その間に、親睦を図るために何か新しいレクリエーションの行事を取り入れようということになって、紅葉パラダイスに行きました。しかし、行くにしても予算がありません。そこで、「京阪バスに頼んだら、安くなる」という情報を小耳にはさんだので、当時の山村会長と私とが三条京阪まで行って、「紅葉パラダイスまで安くで行かせてくれるそうですね」と尋ねたら、「その方法はあります」ということでした。その時初めて聞いた説明では、「路線バスを運行しているところについては、路線バスの運賃で行ける」



町内の親睦を図るためレクリエーション路線バスを利用して紅葉パラダイスへ行った。S55.9.7。佐治会長提供。

というのです。醍醐から浜大津、そして柳ヶ崎までは京阪バスが行っているの、運賃を計算してくれました。路線バスに乗ると同じことで、一人往復四百円程度でした。ただし、現地ではバスを留めてもらえません。「行きのバスは路線に使うので、荷物を置かずに全部持って降りて下さい。帰る時間になったら、また別のバスが迎えに来ます」ということでした。この企画には50～60人集まりました。昭和55・56年あたりは、「紅葉パラダイスへ行く」ということで盛り上がっていました。いろいろとトラブルはありましたが、懇親を図ることができました。

御霊ヶ下町と大構町が合体したのは？

昭和55年のことでしょうか、大構に住んでおられた中山さん、西沢さん、吉川さんの3人が「なぜ御霊ヶ下町内会という名前なんですか」と質問されました。「私達は大構町です」と言われるのです。それまでは、大構町という認識は、役員を含めて誰もありませんでした。同じように町費をいただいているのに、名前を出さないのは具合が悪いということで、「御霊ヶ下町内会」を「御霊ヶ下・大構町内会」という名前に変更するために、町会則を作り直しました。そうすると、今度は逆に御霊ヶ下町の人から「大構町はどこですか」という質問が出てきました。また、一時期独立するという話もありました。ところが、大構町の人には当時20軒まででしたので、町財政を組むことができない。将来的に人口が増えてきたら考えましようということになりました。結局、大構町の人からも感謝されて、良かったなあと思いました。これでまた懇親が深まって、これからは御霊ヶ下と大構は一体だということになりました。

お地蔵さんが公園に出来た経緯は？

当初は白河さんが個人の自宅にお地蔵さんを置いておられ、近所の人達と2年ほど続けてお

#### 町内会の経緯

		歴代会長
昭和46年	御霊ヶ下町南部町内会発足	工藤 一郎
47年		"
48年		金子 文一
49年	池田小学校開校	藤原
50年		工藤 一郎
51年	町内会24組で運営	"
52年	ソフトボール同好会結成 町内会ブロック制(A・B・C)	山村 智璋
53年	池田児童館設立(集会所)	"
54年	子供みこし製作	"
55年	町名を御霊ヶ下・大構町町内会に (会則作成)	佐治 正雄
56年	お地蔵さん建立(公園に) 真栄会結成(初代会長木村先生)	"
57年	町発足10周年(記念品 灰皿)	"
58年	池田小学校東分校開校	"
59年	池田東自町連発足 池田東小学校開校	"
60年	御霊ヶ下東公園開園 新奈良街道と町内会の道路が開通	"
61年	町発足15周年(記念品 お盆)	"
62年		"
63年		"
平成1年		"
2年		"
3年		井上 博司
4年		大西 弘
5年	池田東小学校創立10周年	石黒順一郎
6年	池田東自町連発足10周年	細木 吉武
7年		谷 正夫
8年	ソフトボール同好会設立20周年	佐治 正雄
9年	HP発信(IT)、地下鉄開業	"
10年	池田東小学校創立15周年 組・ブロックの再編成	"
11年	池田東自町連発足15周年	"
12年	町発足30周年(記念品 救急箱) 池田東小学校ふれあいサロン開所	"

供えをされていました。それで隣の雑賀さんが「会長さん、何とかありませんか」とおっしゃるので、「町内で引き取りましょう」と返事したのですが、結局、町内では出来ませんでした。何が問題だったかと言いますと、京都や関西の人でしたらお地蔵さんを知っておられますが、「お地蔵さんとは何ぞや」という話が役員の中から出てきたわけです。さらに、「町費を宗教に使うことはまかりならん」という意見もありました。それで、私と雑賀さんと連名で一口協賛ということで呼びかけたんです。お地蔵さんを公園に納めるのにお堂をつくるのにお金がかかる、けれども町費から出せないということで、私もあちらこちらに寄付をお願いしました。そうしたら70万円ほど集まったんでしょうか。つまり、それだけ関心を持っておられたのですね。そして、業者をよんで公園にお堂を建てました。すると京都市がすぐに来たわけです。「公園に何でお地蔵さんのお堂を建てたのか。誰が責任者ですか」と。「私です」「困るので、すぐに撤去して下さい」「建ててしまったんですからパチが当ります。市の方で撤去して下さい」「それはできません」と、すったもんだをしました。結局、京都市が「『いつでも撤去できます』という一札を書いて下さい」というので、最初は思案したのですが、まあ良いかと考えて書きました。書いた限り、内緒にできません。三宝院の近くにあった醍醐支所を訪ねて「ご迷惑をかけましたが、町内でお地蔵さんの式典をやりますので是非出席して下さい」と言いました。そうしたら

支所から3人の方がお見えになりました。そして「地域の親睦が深まりますことをお祈りします」という趣旨のご挨拶をいただき、公式に認めてもらった形になりました。

#### 地蔵盆は最大のレクリエーションの場

お地蔵さんのお堂が竣工したその年には、町費を使わずに、寄付の余ったお金でお菓子を買って地蔵盆をやりました。そうして実績をつかったので、「来年度から地蔵盆(子供まつり)をしよう」ということで、町予算を組んだわけです。お地蔵さんを通じて町内の人達がやっと集まってきました。子供もわかってきました。それまで、紅葉パラダイスなどのレクリエーションや少年補導などの行事にも子供は出てきていましたが、町内の公園に集まるという行事はなかったのです。本当に任意に親も一緒に公園に来て親睦を図れました。そこで地蔵盆だけでは物足りないので、盆踊りをやろうということになりました。そうしたら公園の近所から苦情がきました。しかし、だんだん地蔵盆を通じて子供が出てくると、自分の子供が楽しんでいるものですから、苦情はなくなりました。また、昭和54年に、秋祭りの方でも子供を集めてやろうということで、子供神輿「樽神輿」を有志で作りました。神輿の制作は吉川さんの力をお借りしました。今日まで続いています。22年ほど経っているので、神輿の修理を今年、吉川さんにして頂きました。



お地蔵さんを公園に安置した記念式典。S56。佐治会長提供。



式典に参加のみなさん。S56。佐治会長提供。

### 「真栄会」の発足について？

さらに56年には年寄りの会を作ろうと考えました。雑賀さんに相談すると、雑賀さんが老人会の出来たところを見に行き資料をもらってこられました。京都市にも聞くと、60人以上であれば市から3万程度補助してもらえらることもわかりました。そこで「老人クラブをつくりたい」という回覧板をまわして呼びかけました。しかし60人に満たない。どうしようかと思って、「何歳からならいいですか」と聞くと、「58歳からなら構わない」とのこと。それで58歳の人を探して、名前だけ書いてもらいました。結成する時に、会の名前を何にしようかという話になりました。老人クラブという名前はいけないということで、白河さんや雑賀さんらが決められたのが、「これから栄えていくことをしなければならない」ということで「真に栄える会」「真栄会」になりました。発足した時の会長さんが木村先生でした。またそれ以外に57年から敬老会をやる事を決め、手作りでスタートさせました。今では「敬老の集い」として大変喜ばれており、やって良かったと思っています。

### 池田東小学校設立に向けての準備

昭和53年頃から池田小学校の人数が多いので、池田東小学校をつくらなければならないという話が出てきました。そのあと54年頃に、この地域全部でNHKの電波障害が起きました。関西電力が山科に鉄塔を建てたために、それに反射してテレビの映りがかなり悪くなったのです。新聞にも出るほどの問題になって、関西電力が、1所帯につき4600円の補償金を出し、ブースターをつけて、テレビのアンテナを施設するということになりました。うちの町内はそのとき260所帯ありました。その260所帯分の補償金を配らずに凍結してプールするように提案し実行しました。なぜなら、地域に小学校をつくるとなると、いろいろと寄付が必要となる。しかし、町



集会所での真栄会の懇親会。三好氏提供。



敬老の集いは集会所で手作りで行った。佐治会長提供。

費ではまかなえないので、電波障害の補償金を小学校の資金としておいて置こうということにしたのです。その後、学校に寄付をして、今日でもまだ40万円残っています。使ってしまうばそれまででした。他の町内はレクリエーションに使ったりしたそうです。今日まで残っている40万円は、総会で「30周年に使ってもよろしいですか」という確認をとりました。その時の260所帯の町内の方々の理解で、そのお金を残して頂いたことで、地域の発展に財政面で寄与できたし、そして今日それがあることによって、町内会も、何か起っても全く無一文と違い一定のお金を持っていることを、心の拠り所としているのです。電波障害による関西電力からの迷惑料を、何年か前まで「迷惑料」という項目をあげて会計報告をしていたのですが、関電から「関西電力の迷惑料」というのは勘弁して下さいと言われて、「特別会計」という項目に変更しました。それ以降300所帯以上に増えていて、新しい人は知らないわけで、「これは何のお金ですか」と聞かれた時に理解してもらうためにも、そのようにしました。こうしてこのお金は小学校の





池田東小学校創立10周年記念誌より。H5。

運営資金に充当できました。池田東小学校ができる、自町連も池田小学校から分かれなければならず、「池田東自町連」が発足しました。そのときにお金がいるという話になりました。他の町内では分担金がまかなえないので臨時徴収をしなければならないという時に、私たちの町内にはお金があったわけです。これで運営が出来ました。

#### 万千代川道路建設反対について

醍醐には東西の道路がない。昭和52、3年に万千代川にふたをして東西の道路を作りたいという計画が浮上してきました。当時、万千代川沿いの並びの家の人達が、反対運動のため立ち上げられました。私は「反対すべき」という考え



町発足10周年記念品の灰皿。雲楽窯 斎藤太三郎作。S57。

でしたが、一部役員の方が賛成の立場を取られました。しかし反対運動をおこした人達が署名運動などの活動を進められました。その時期に同じ醍醐の地域から、南に流れている柳戸川のところを道路にしようという話が浮上してきました。すると「万千代川の話のまま押し切って、農道の横の川にわざわざふたすることはない」ということになって、結局万千代川道路建設の話は棚上げ状態になったと聞いています。そして昭和57年に解決した時に、記念として町内に万千代川道路建設反対同盟から紅白の横断幕を寄贈して頂きました。

#### それから道路の封鎖のことについて

町内から新道（新奈良街道）に東へ抜ける道路が出来ることになり、地元と話し合いをしました。木村先生のお宅の東側は田んぼや沼地だったのです。その向こうに醍醐で初めて区画整理組合というのが出来たわけです。土地を区画整理したいので、地権者が京都市にいくらかの土地を寄付をするということでした。「整然と出来るし、道路もちゃんと出来ますし…」という話を伝えて来ました。「それならいいですが」というところまでは良かったのです。そうしたら「新道が出来たので、外環状線に抜ける道路を開通させてほしい」と言いに来たわけです。「それは絶対にだめです、生活道路だから」と言いました。しかし、いつまでも反対とは言ってられませんでした。なぜなら、町内としては出入り口が二つしかない。どうして困ったかという、町内で下水道工事をする時に、二ヶ所しか出入り口がないと、外環状線に向けての道路を掘った時、外環状線に直接車が出られないわけです。小栗栖街道のタテガミ理髪店のところに皆が集中するわけです。そういうこともあって、それでは具合が悪いということで、区画整理組合と正式に農協で話をして、区画整理組合が「御霊ヶ下東公園」を寄付されたんです。今では町内としてはそれがために掃除や管理をしなければ



東公園にある初代真栄会会長木村先生の筆による記念碑。

ならず、荷物になっているわけです。公園の東北角に石碑が立っていますが、そのときに木村先生が「私が書いたのをそのまま彫ってもらっているんです」とおっしゃいました。いつまでも反対できないので、「町内を開通してよろしい」ということになりました。そして、向こうの区画整理が終わった段階で、今度は初めて町内会員さんも新道に出られるようになったのです。また、生活道路にもかかわらず現在も東西両方向からどんどん車が通り、事故も増加し問題を抱えています。

町内はなぜ駐禁の場所が少ないのですか？

そのときからだと思いますが、駐車禁止の話が出ました。どこの町内を通っても駐禁になっていると思いますが、うちの町内の中では駐禁の場所が少ない。内側に入った道路は全部駐禁ではありません。それは「駐禁にしたらだめです」。要するに、外環状線から入ってくる道路、それから小栗栖街道へ出る道路は駐禁ですが、その道からどこへ入っても駐禁のところはありません。お互いに自分達の生活道路ですし、自分達が使いやすいようにしたら良いのですから、何も自分で自分の首を絞めることはないと思います。なぜその話を持ち出したかと言うと、通学路が当時、外環状線に出るようになっていたのです。そのため、今でも「8時から9時まで通れない」ということになっています。あれは解除できません。一旦ああいう標識を出すと

絶対に公安委員会は解除しない。駐禁も同じです。一旦決めたら何がなんでもそのままです。通学路についても、新道への道路が開通した時に、学校や公安委員会に、御霊ヶ下の半分は外環状線に回って行くのは遠いので、東の万千代川の仮設橋を通過して通学できるように申し入れました。そうしたら、委員会は「仮設だから認められません。安全ではありません」と言われました。しかし、それも既成事実をつくって実現しました。つまり、自分達の町は自分達の力で住み良くしたいということですね。

#### 溝ブタの全面設置は当時のモデルケース

もう一つは下水道工事です。自慢ではないですが、醍醐の中でも一番か二番に下水道工事をしてもらいました。水洗便所です。モデルケースということもあって、「うちはこういう住宅地だから、人夫は素姓のはっきりした人を連れてきて下さい」という条件を出しました。「留守宅が多いので、のぞかれたりしてはかなわない」という話があったのでそういうことにしたわけです。それこそ昭和55、56年です。下水道工事をやるまでは町内で溝掃除をやっていました。今のように溝ぶたがありませんでしたので。宅地造成した業者が一所帯に溝ぶたを2枚ずつ置いて渡れるようにしてくれただけでした。溝ぶたがないところに、よく車などが落ちました。それで、下水道局と話をした時に、「溝ぶたを全所帯に全部設置して下さい」と言いました。そうしたら「何百万円かかります」という返事でしたので、「そうでしょう。しかし、モデルケースでしょう」「わかりました」ということで、溝に全部ふたをしてもらいました。それだけではなくて、町費で払っていた街灯について、「うちの町内は足元が悪いし、街灯代を町内で払っているのはおかしい。他のところは京都市が街灯代を払っているそうですね」と言いました。そうしたら、下水道工事の時に、いくつかを残して、その他の街灯を全部京都市がやってくれた

んです。とにかく下水道工事は早かったのです。醍醐の他の地域ではそれから10年後に、反対運動が終わってようやく下水道をつけたところもあります。

#### ごみ収集は午前中に終わるように要望

それから、しばらくして家庭ゴミのことがありました。家庭ゴミというのは、一軒一軒、玄関に出してサービスで取りに来ていました。そこへ、京都市が「定点収集」という考え方を出てきたわけです。定点収集の目的は「10~15軒のゴミを一ヶ所にまとめて、出来るだけ効率化して回る」ということでした。行政のことで、将来的に横並びで、全所帯でそうなるとうかがっていました。皆に「行政が定点収集を言っていますが、どうですか」と聞くと、「仕様がなし」という返事でした。私は「仕様がなし」だけではいけないので、「定点収集は受ける。ただし、条件として週に2回とも午前中に来てもらう」ということを考えました。家庭ゴミの収集は、週に2回とも午前中というケースはありません。夏場、昼から来られたのでは、それまでに臭いし、猫は袋を破るし大変です。そこで午前中に取りに来るようにお願いしました。そうしたら「検討させて下さい」ということで、しばらくは午前中に来てくれていました。しかも、私は「大型ゴミをいちいち電話をして取りに来てもらうのでは不便です、定例に取りに来てくれませんか」と言ったのです。そうしたら、「会長さん、任せて下さい。それくらいは出来ます」という返事だったので、これは内心「うまくいった」と思いました(笑)。定点収集の場所に大型ゴミを月一回(第3火曜か月曜に)取りに来てもらうことになりました。それが平成7年まで続きました。その後、行政が「無料で、定例で、何でもかんでもというのは具合が悪い」と言ってきました。他の町内でも「何で御霊ヶ下・大構だけが…」となりました。「市民の税金を無駄遣いしているのか」「あそこだけサ



団結力抜群で体育大会では優勝。S57。佐治会長提供。

ービスしているのか」と言われ、今まで獲得してきた条件がなくなってしまいました。

#### ふたたび町内会長に復帰して

4、5年の間は一線を引いていましたが、岸上氏が「会長にカムバックして下さい」と言ってきました。私が平成8年にカムバックした途端、自町連の会長もやることになりました。そこで「もう一度会長をやるのであれば、少しは行事も変えよう。何年も前にやった行事を、再び私がやっているというのはいけない」ということで、岸上氏と話をして改革しようということになり、地藏盆の中身も変え、家庭福引きも変えてテレビなどを景品に出しました。平成9年には、奈良先生にお願いして、ホームページを始めました。「これからは情報化社会だから必要だ」などと、またええ格好しているわけです(笑)。それにしてもこれは取組んで良かったし、今でも町内の自慢です。「IT革命」の先端を行っています。

#### 平成10年に組を再編成したのは?

一口で言うと、不公平だったのです。一つの組で15所帯のところや8所帯しかないところがありました。会則では輪番制ですので、公平ではないわけです。また運営するにしても不都合が出てきました。宅地造成をして家がどんどん増えていき、その都度組をつくっていくので、



祭りは樽割でスタート。山崎、佐治、滝口の各氏。H12.11.5。

順番に1組、2組とはいかず、飛んでしまうケースがでてきました。ばらばらで運営しにくいのです。さらに将来的に御霊ヶ下と大構が離れることも想定しました。そこで公平にやろうということで、「一組を大体10~11所帯にしてもらえないか」と編成委員会をお願いしたら、30組になったのです。

現状から将来に向けて思われることは？

現状について思うことの一番は、高齢化の問題です。これからの活動は今まで以上のことは出来ないのに、今まで以上のことが求められてくる、ということです。行政がだんだん地元へ責任転嫁をしてきているわけです。その方向で進んでいって、21世紀に我々がやれるかどうか。町内を振り返ったら、高齢化社会で、70歳以上も増えてきています。そうしたら活動もままならない。ところが運営は今まで以上にやらなければならないし、財源的にもいろいろと考えなければならない。70、80歳代の方に果たして町費を戴いていいものか、ということ判断しないといけない。しかし、運営はしないといけない。そういったことをどうするかということについて、高齢化の問題は大きなネックだと言えます。

地方自治体が変わってきて、「地元で責任をもってやって下さい」という話が出てくると気になるのは、やっぱり自分達の町は自分達で作り上げていくということです。当面何が必要であるかということ、どうしても集会所が欲しい。



町内では年中花や緑がたえる事はありません。住友さん宅。

御霊ヶ下・大構町のシンボルが欲しいのです。ただ単に「御霊ヶ下・大構はよくやっている」というだけでは不十分です。御霊ヶ下・大構に行ったら「アレがある」というものが欲しいのです。町内に集会所があって、いつもそこには誰かがいて、いろいろな情報を交換している、何か問題があってもそこで話が聞ける、高齢化社会になっても安心して暮らせるようにしたいのです。

それから地下水。私が前から抱いていた構想ですが、飛騨高山のようににはならないにしても、あれだけ地下水が湧いているのですから、それを有効利用して、上へ汲み揚げて、町内にうるおいと水のせせらぎが目に見える環境をつくりたい。川に鯉を泳がせたりして、情操教育を実践する町づくりをしたい。これはこの地域には例がないし、町のイメージ・アップにつながると思います。

お聞きすればするほど、佐治町内会長がリーダーシップをとり、行政には言いたい事を主張し、町内のために尽くして頂いたことで、私たちの町内会がここまで来ることができたということがよくわかりました。今後ともお元気で、どうぞよろしくお願い致します。

長時間にわたりありがとうございました。

\*聞き手は奈良編集委員長、本文構成は竹村編集委員。

なつかしの フォトアルバム



少補ソフトボール大会学区優勝。S57.5.30。三好氏提供。



池田祭で今川市長に花束贈呈した土橋路子ちゃん。S61。



秋まつりの神輿が飾られた中央公園で仲良く遊ぶ増木姉弟。H11。



京都国体で醍醐地区を聖火が通過した時の足洗い。S63。



地蔵盆で太鼓演奏をした京都造形芸術大学の学生たち。H12。



秋まつりでこども神輿を引張ったチビッコ全員集合！！。三好氏提供。



秋祭りで配る松茸おにぎりを準備する役員さん。H11。



中央公園では子供も大人も一緒になっての地藏盆。H12.8.20



30周年を記念して地藏盆を盛大に開催しました。縁の下で支えてくださった役員のみなさん。H12.8.19・20。



「敬老の集い」を「京料理醍醐」でもちました。フィナーレには「青い山脈」をみんなで大合唱。H12.9.15。

## 寄稿

町内会スタッフとして感動と展望

副会長（ブロック長）

土橋 隆夫（7組）

2000年ミレニアムの年にくしくも町内会発足30周年を迎える中、特に地蔵盆は記念事業最大のイベントであり、和太鼓、巨大トンネル、記念品贈呈等特別企画により、町内外多数の参加者を見ました。また、奈良先生によるホームページにより町内会事業紹介等の世界への発信と、他町内会との違った独自の路線で、益々町内会発展にスタッフの一員として参加出来た事に喜びと同時に感動を覚えました。当町内会住民として約28年、今振り返れば、過去現在様々の思い出がこみ上げ、又住民も若い世代へと移りつつあります。IT革命が起りつつある中、次世代に向ける町内事業も発想の転換が必要となり、二世帯同居、老人対策等お年寄りから幼児迄全員が参加出来る行事への取り組みを、21世紀へのビジョンとして陰で応援出来れば幸いです。活性化に向けガンバリましょう。

21世紀への夢

副会長（ブロック長）

奥井 俊考（19組）

当町内会は新時代に相応しい発想にて、今日「パソコン」の「ホームページ」で、町内会を京都から国際社会に発信され、これは大きな一歩前進を見えています。21世紀には町内会も大きく変化するでしょう。今までの「ボランティア」から会社組織的な町内会の運営になっていく、「イベント」は利益を目的とし、決算により利益の還元を...そして住宅公園は普通の公園から利用価値のある形に、例えば、舞台形式的（ステージ）で多目的利用が可能であり、地域社会の親睦と発展の夢を現実化へと導かれて行くものも、近い将来そうなってい行くことでしょう。

...なにはともあれ、「明るい町」「住み良い町内」楽しく暮らしていて意義ある生活を営むことの大切さを、将来、子供達の社会へ「おくりもの」として引き継いで行かなければならないでしょう。

醍醐に住んで

副会長

大沢 良男（5組）

今年は2000年、組長が廻ってきました。この大構町の住民になって17年になります。昭和63年に組長になって体育委員が当たりました。体育委員の時は人数を集めたり、若いお母さん方が出られた時はその子どもさんと一緒に遊んだり、足洗いの料理を作ったり、それはそれは大変でした。けれどもみんなの協力で楽しい思い出ばかりです。それから5年後副会長になりました。副会長は総ての行事に参加しなければならないので気の重い事でした。でも、これも楽しんで臨もうと思い、プラス志向で、いい社会勉強になりました。それから今年、また副会長に当たりました。今までの経験をいかし、少し余裕を持って役に取り組みもうと思っています。役員の皆さんの気持ちの良い行動、協力のもとに残る期間を務めていきたいと思うこの頃です。



「醍醐ふれあい祭り」で、今川市長に私の娘が花束を贈呈しました。その娘も今年の10月結婚しました。佐治会長が司会進行をされていました。月日が経つのは早いものです。S63.11.6。

行事に気軽に参加できるように

副会長

海老原 武（11組）

醍醐に住み17年になりました。

まずは、御霊ヶ下・大構町町内会設立30周年お目出とう御座居ます。今回町内会のお世話をさせて頂き地域の活動のすばらしさを知る事が出来ました事をうれしく思います。

町内の皆様の活動や協力があれば良い町づくりや今後の楽しい人生を作る事が出来るのではないのでしょうか。

今後町内会の行事にもふらっと参加出来る楽しい人生観のある町内会であってほしいものです。今後共よろしくお願い申し上げます。

---

東の空地で孫とタコあげ

副会長

池田 幸雄（24組）

町内会設立30周年記念 おめでとうございます。長年住みなれた大阪から醍醐に来て初めて山が手に取るように見えて感激しました。

右も左もわからない土地に来て 不安がいっぱいでした。町内会皆様に支えられて15年になります。東の方の空地で孫とタコあげした事がいい思い出です。

醍醐に地下鉄がきて、京都市内に行くのに便利になり、現在六地藏方面へ延長工事中です。盆踊りの太鼓は特に迫力がありました。

---

同じ屋根の下の住人のように

副会長

久保 朱實（29組）

輝かしい30周年を迎えられ、おめでとうございます。振り返れば市街地のドーナツ化現象により醍醐の人口も増加の一途を辿る中で、町内会を開かれ今日にいたる迄には、幾多のご努力ご苦勞があった事と思います。特に当地域は陸の



万千代川堤防より北を臨む。S58.1久保良定氏撮影。



万千代川堤防より北を臨む。H12現在の様子。

弧島と言われた程、僻地でした。近年地下鉄が開通して目まぐるしい発展を遂げています。このような活性化の中にある我が町内会に参加して、横の繋がりをつくづく感じ安心した日々を送っています。色々な行事がある度に、同じ屋根の下の住人のように皆様の和気合々とした光景は、微笑ましく心温まる思いになります。調和のとれたこの体制が新世紀へと続きますよう祈念しております。最後に僭越乍ら今後益々高齢化が進むに伴い会費の軽減も御検討戴ければ幸いに存じます。

輝かし歴史の節目 今ここに 世紀を越えて  
幾久しくも （短歌）

---

地域に大切な「小さな願い」

総務部部长

深尾 信夫（21組）

おかげ様で町内会設立30周年を迎えることが出来たことは、先輩諸氏のご努力のたまもの



と、ひとえに感謝する次第です。

息子が30歳を迎え町内の歩みと共に大きく育ちました。当時子供達は上の子は弟や妹を連れ異年齢関係なく集団で群れ遊ぶとき、必ず中心にはリーダー（ガキ大将）的存在があり、上の子は組織をまとめる事を学び、下の子供達は兄や姉の善悪の姿を見習い、人間関係を体で覚えました。時は流れ今小子高齢化が進み、国を上げての対策もままならぬ等、我町内会も30年の歴史を受け継ぎ、新しい運営の転換期を迎えています。例えば高齢の方でも町内会運営に気楽に参加できる組織作り、町内住民はイコール町内会員であると21世紀の町づくりを皆で拓いていき、「いつまでも住みたい町」づくりを願い、いかにITが進みコミュニケーションの型が変わっても「地域住民の関係」の大事さは変わらないよう21世紀に向い、私達はそのような機会もつくり、又、そのような場を作る事が役員方々の努めのように思います。

---

あれもこれも町内会のお陰です

総務部

桂田 武彦（19組）

ここ数年、町内会の役をさせて頂いているお陰で、同じ町内に住んでいながら話しかけることもなかったであろう人々との出会いや、校区のいろんな役を持たれている方、学校の先生、醍醐支所の所長さんなどと深い浅いは別にして顔見知りになり、人と人との輪、広がりというものに改めて驚いています。

人の輪が広がっていく過程にはいろんな行事への参加や活動があります。

夏祭りの小学校校庭での模擬店、地藏盆、運動会、秋祭りではお神輿の巡行と模擬店。スポーツ行事もソフトボール、バレーボール、卓球、ボーリング大会などがあり、敬老会（当町内では敬老の集い）やゲートボール、小学生にはソフトボールやドッジボール大会など。地域のボランティア活動では公園の草むしりなどと多く



第15回京都市オープンダブルスバドミントン大会参加記念

の種目があり、誰でも参加、活動することが出来ます。

これらの種目どれをとっても人と人との結びつき、コミュニケーション無くしては出来るものではありません。

人の輪は人の上下関係なく広がっていく、本当に素晴らしいものです。

そうした活動の中で、私にとっては平成9年に15組の小田伸さんと一緒に町内会の役をさせて頂いた時、体振のバドミントン同好会を紹介して頂き、入会させて頂けたことがかけがえのない喜びでした。

今日もシャトル（羽根）に振り回されて楽しむことができました。

たかが羽根突き、されど羽根突き。高さ1.524m～1.55mのネットを越すサービス（サーブ）には今だに悩んでいる程に私にはむずかしいスポーツです。皆さんも一緒にやりませんか。

町の役をするのは本当に大変なことと思いますが誰かがやらなくてはなりません。しかし、自分の身に付く大きいメリットがあります。やればわかるでしょう。

人の輪はお金では買えません。貴重な宝です。

---

この町は故郷

総務部

桂田 和彦（10組）

町内会が発足して30年、自分の故郷（クニ）は御霊ヶ下・大構町だと言える世代が多く育って

きました。私たちはこの「故郷」を大事に育てる義務があると思います。

30年前のこの付近は小川には小魚が泳ぎ、蛍も飛び交う自然が多くあり、子供たちも虫取りなど自然に親しんで遊んでいましたが、今では自然が減り、遊びの場も多くが人工的なものになってきました。

故郷とは自然が一番似合います。

21世紀を迎え、子供たちが自然に親しんで生活できる場を創ってやるのが私たち大人の役目ではないでしょうか。

東公園には木が繁り、万千代川に小魚が泳ぐ光景は楽しいとは思いませんか。

---

健康維持はスポーツから

体育振興会指導員

増木 博一（22組）

御霊ヶ下・大構町内会発足30周年おめでとうございます。

3年前から町内の代表として池田東学区の体育振興会指導員をさせて頂いている増木です。平素より池田東学区の体育振興会行事にご協力いただき有り難うございます。記念誌発行にあたり体育振興会の趣旨及び行事について書かせていただきます。

老若男女の心と身体健康維持そして増進を図り、人と人との調和を目的として多様な行事をおこなっています。現在のところはソフトボール・バレーボール・卓球・ポーリングそしてメ



H12バレーボール女子の部で優勝した我が町内の精鋭。

インの運動会といった内容です。しかし、これからは生涯スポーツなども視野に入れ、もっともっと多くの人たちが参加できる行事を増やし、池田東学区民全員が参加できるようにしていきたいと考えています。これからも今まで以上に町内会及び池田東学区民全体が健康で明るい生活を送れるよう努力していきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願い致します。

---

町内にすんで思う事

自主防災会副会長

井上 博司（24組）

町内会設立30周年、大変おめでとうございます。今あらためて思いますと、この30年の間に醍醐の町も地下鉄まで開通して、ずい分発展し様変わりしました。私も昭和47年に京都よりこの町内に移り住んで早28年になります。今この町内に住んでいて思う事は、町内の皆さんが明るく協力的で仲のよい楽しい町内です。私も町内会の行事や組長や役員等をさせていただいたおかげで、子供さんや町内の多くの人達と知り会えて喜んでおります。いよいよ21世紀、これからも今まで以上に仲のよい楽しい町内でありまうように祈っています。

---

敬老乗車証をお配りして

民生委員

坂本 佳子（25組）

京都市では、昭和48年より、長年社会貢献してこられた満70才以上の皆様に、敬老乗車証が贈られます。

本年は2年に一度の更新の年です。私は、今回でこれをお配りする3回目のお手伝いをさせて頂きました。その際、皆様のお元気なお姿を拝見したり、バスや地下鉄にスムーズに乗り継ぐ事ができ、大変ありがたいという感謝のお言葉を頂きました。多くの方々に、とてもお喜び頂けたと、私もほっとし、無事お配りできた事に感謝

### 30 御霊ヶ下・大構町

申し上げます。ありがとうございました。  
尚、この敬老乗車証は満70才になられましたら、健康保険証をご持参の上、区役所、支所福祉部（福祉事業所）にて、申請されると受け取る事ができます。

---

記念誌の発刊に寄せて  
町内会初代会長  
工藤 一郎（22組）

私達の町醍醐は時代の要請と醍醐の発展を期待し、昭和46年2月に御霊ヶ下（南部）町内で町内会設立の準備を始め、約1ヶ月間であわただしく町会則作成ならびに総会会場準備を進め、3月に80世帯での総会を苦勞の末開き、無事設立の運びとなりました。そして若年の私が初代の町内会会長に選ばれ、2年間の重責を皆様のご協力とご支援によりまっとうできましたことを今でも感謝しております。

さて、21世紀を間近に控えた今、国際化、情報化、少子高齢化など激しく変化する社会の中で、京都市は重点目標を2、3年前までは「元氣都市京都」を挙げておりましたが、現在は環境整備について「私達京都市民は美しい町づくりにつとめます」となっています。標語が地下鉄ホームの柱にも貼られ、私達市民も町の美化について改めて関心を持っているところです。私達の町内でも特に気を付けたいこととして

1. 犬の糞は飼主で始末しましょう。
2. タバコのポイ捨ては止めましょう。



通学路に取り付けられた「犬のフンためダメ...」の看板

の2点の看板を作っただけではいかがでしょう。それとも一つ、町内会3ヶ所ほどに無記名でも意見が述べられる「目安箱」なるものを設置し、町の美化などについての意見を集め、住み良い町づくりに役立ててもらいたいと思います。

---

万歳!! 御霊ヶ下町  
元町内会長  
谷 正夫（7組）

「醍醐の春にあひ候へ。」秀吉が北政所に書き送ったことばです。まさに桜は醍醐の代名詞です。名刹醍醐寺の山門から内に入ると冷んやりとした空気が肌に感じられ静寂な中で木立の間からのこぼれ陽がまぶしく目に入ります。山手の林泉池の辺りにある桜が水面に写り、じっと見ていると秀吉時代がしのばれこの山里で華やかな花見の宴が催されたことが夢のように往事の栄枯盛衰がわびしく想われます。境内には千年の歴史を秘めた国宝五重塔や金堂があり散策していると、時の過ぎるのも忘れやすさを求めるには最適のところです。さて近年醍醐に地下鉄が開通し周辺は活性化されました。我が御霊ヶ下・大構町は、この醍醐の「静」「動」の両地域の中に位置し、今日まで30年の歴史をきざんできました。21世紀には、町内が住民の人々にとって悠久の郷になることを願って、設立30年記念に祝杯を上げたい。

---

醍醐に住んでよかった  
元消防団員  
中 豊一（15組）

御霊ヶ下大構町内会が設立されて30年が過ぎて、今振り返ってみますと、私共が越して来ましたところは60軒の家が立っているぐらいで、あとは空き地でした。夏には万代川沿いにホタルが飛び、子供達はザリガニ採りをしたり冬には空地でタコ上げをして遊んでいたように思います。それからは経済の高度成長により、住宅工



我が町内の精鋭たち。S51年。

事も、1期、2期、3期工事と、だんだん家が立ち並び又マンションやアパートが建てられ大きな町内に発展しました。ショッピングも近くに大型店舗が出現して楽に成りました。交通面でも地下鉄が開通して、どこへ行くにも時間が短縮され、便利になりうれしく思っております。私の思い出深いことは、昭和54年に少年補導員をしていました時、池田支部で少年少女ソフトボール大会があり当町内チームが優勝し、優勝トロフィーを町内に持って帰ってくれた時には



少年少女ソフトボール大会で優勝した町内のチーム。H54。



秋の学区民運動会でABチームとも大活躍。H57。

心から一緒に喜んだものでした。高学年の子供が練習日程表等作り、低学年の子供が練習中に怪我をしないようにルールやチームプレーなど教えて練習、また、監督さんの指導を受け、皆が一つになり試合に向かってイキイキとしていたことを思い出します。私も子供達と共に出来たことを幸せに思っています。

---

地域の皆様に感謝

池田東小学校PTA役員

日高 まゆみ(4組)

町内会設立30周年、おめでとうございます。私が醍醐に住みはじめて13年になりますが、この間、実に多くの方々と巡り会うことができました。特に、昨年は、PTAの本部役員としての活動を通じて、地域の皆様方が、いつも子供達を温かく見守り、支えてくださっていることを感じる事ができました。本当にありがとうございます。この場をお借りして感謝の言葉を述べさせていただきます。

さて、来年から、いよいよ新しい100年が始まります。来る21世紀に、中心的な役割を担う子供達に色々な場へと積極的に出向き、たくさんの人達とふれあうことで、自分たちの可能性を広げて行って欲しいと思います。

最後になりましたが、これからもいつも明るく元気な町内会として、益々ご発展されるようお祈り申し上げます。

### 30 御霊ヶ下・大構町

醍醐に住んで

池田東小学校地域委員

高橋 智美(20組)

私がこの地域に住んで15年になります。ちょうど町内会の半分の年をこの醍醐で過ごさせていただきました。ここ数年、醍醐地域も地下鉄の開通などで近代化してきましたが、その一方で古くからの史跡も近くにあり醍醐山の登山等、子供たちは小さい頃から自然の環境に親しむことが出来ます。又、毎年行われる地藏盆や、お祭り等を楽しみにしており、大人も子供も一緒になって楽しめる本当によい地域だと思います。これからの10年、20年もこの醍醐という地域が「人と人の輪を大切にしていこう」、そんな温かみのある街であればと思います。

---

チームワークのとれたいいチーム

陵友ソフトボール同好会監督

森 俊文(21組)

御霊ヶ下・大構町町内会設立30周年、誠におめでとうございます。町内会の皆様には日頃より大変お世話になっておりこの場をおかりしてお礼申し上げます。

私たちは町内のメンバーを中心にソフトボール活動をしており、チームワークのとれた非常にいいチームだと思います。このまとまりはどこから来るのかと考えると、私は御霊ヶ下・大構町の持っている雰囲気と一緒にような気がします。地藏盆・学区民運動会・秋のお祭り等、大きな行事の時はもちろんの事日頃の生活においても、近所付き合いを通じ皆さん仲が良く、どこの町内会にも負けない非常に素晴らしい町内会だと思います。陵友ソフトボールクラブも皆様の力に支えられ、より強いチームを目指して頑張っていこうと思いますので、私達と一緒にやっていただける方がいらっしゃいましたら入部を歓迎いたします。

最後になりましたが町内会のますますの発展と

皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

---

憧れの人

栗陵中学2年生

清水 麻樹(14組)

私は、池田東地域で秋にある区民運動会が好きだ。走るという事も好きだけど、町内の人達みんなであつになって優勝を目指すっていうのがいいなあと思う。町内の人達と一つになるというのは、私にとってこの区民運動会しかないから…。

私には昔、あこがれの人がいた。それは、森根さんのお姉ちゃんだ。なぜかというと、小さい頃の私にとって、区民運動会やバレーボール大会など、町内のために何でも一生懸命やっていたみほちゃんのお姉ちゃんが、かっこよく見えたからだ。だから、私もそんな人になるために、町内のためにいろんな事をがんばりたいと思うし、昔の私のように、小さい子が、そんな私を見て、かっこいいなあと思ってくれる様な自分になりたいと思う。

PS. がんばります。

---

私の楽しみ

栗陵中学3年生

八木 めぐみ(25組)

私の楽しみは、友達づくりとコンサートに行くことです。友達と言っても、学校の友達とは全然ちがいます。私の友達は、みんな共通点があるんです。それは、ジャニーズファンであることです。ジャニーズファンにもいろんな人がいるんです！年下の子とか高校生とかかなり年上のお姉さまとか…。いろんな人とすぐ友達になれるので、ケッコー楽しいです。

私が行くコンサートってジャニーズしかないのだから…。今までに11回ジャニーズ系コンサートに行ったけど、やっぱりコンサートってストレス発散にサイコーの場所です。他のコンサートは叫

んだり歌ったりできないと思うんですけど、ジャニーズは何でもありですよ。  
みなさまも1回行ってみてはどうですか？

お地蔵様

お地蔵さん世話人

山本 公枝(25組)

私昭和47年より御霊ヶ下町に永住しております。一時は醍醐寺長尾天満宮へと日参しておりましたが主人病気のため中断してしまいました。月末に氏神様の清掃奉仕を手伝っております。公園の片隅にお地蔵様がまつられお参りしたところ、堂内がホコリで何だか気になり少しでも美しく多くの方がお参りされます様にと毎日初水、フキン、バケツを持って掃除を始めました。最近町内外よりお参りされる方がおいでの様で、十三佛の一体地蔵菩薩様と年配者より伺いました。確かに有難く感じる事があります。どうか年1回地蔵盆には賑やかにお祭りしてください。町内親睦と町内安全を守護して下さいと思います。近年不愉快な事件ばかりでどうぞ町内の皆さんが事故なく平和な町内会であります様祈願しております。町内もいよいよ高齢者が多くなり、お一人でも真栄会へ入会していただきみんなでの楽しい余生を送りたいものです。

町内の大切な御地蔵様

お地蔵さん世話人

吉田 シズエ(25組)

公園の片隅で皆様を守って戴く事に感謝しましょう。毎夕私の日課の掃除今日もありがとうと唱へ早や16年、寒くても嫌になる事なく、お地蔵様が大好きです。大きな事故もなく毎日車は東へ西へと走ります、子供達もよく遊びますが一寸お母様方にお願ひがあります。水の大切さと食べた後始末ができるように。私も醍醐で生まれ70年、巨大な建物、便利な地下鉄、美しい道路すべてに感動します。でも美しい醍醐山が



お地蔵様が公園に安置された当時の山本、吉田さん(中央)

一寸見にくいようで淋しいです。掃除の帰りご苦労さんと言ってもらう事の喜び、明日につながれ息ある限りやります。又、別にお寺参りも良き人生の勉強と考えつづけます。醍醐も都です。いい環境で生活できる幸、如何でしょうか。私も今は趣味の一つとして舞と吟に頑張っています。老いても美しくやさしいおばあちゃんになりたい為です。皆様健康が宝です元気で平和な明日を迎えましょう。

チームが出来てもう15年...

バレーボールクラブ

豊田 譜治子(15組)

御霊ヶ下・大構町町内会設立30年、そんな年月が過ぎたのですね。私が御霊ヶ下・大構町に住んだ時はまだ幸福荘があり、家は3件から5件も建っていませんでした。今はもう約350件、醍醐ではとても大きな町内会になるのでしょう。結婚して3年間ぐらいは木幡の方に住んでいました。でも御霊ヶ下・大構町が住みよいので帰って来ました。

町内行事のバレーボール大会に参加して、他の町内の方たちと友達になり、体振バレーボールチームが出来てもう15年以上になります。まだ続いています。御霊ヶ下・大構町からは4名の方が、毎週7時30分から9時30分まで参加しています。もっとこの町内から沢山の方がバレーボールチームに参加していただくのをお待ちしております。

私とバレーボール  
バレーボールクラブ  
八木 恵子(25組)

私とバレーボールの出会いと言うのも大げさですが、PTAバレーで、始めたきっかけは学区のバレーボール大会です。町内のバレーボールに出てもらえないかと、当時の体育委員さんに声をかけられ、練習に何度か参加しましたが、何せ学生時代以来のバレーで、腕にアザを作り痛がっていた所、「PTAで練習をしたら」と声を掛けて頂いたのが豊田さんです。あれから7年、私はPTAバレーだけではなく10校区のバレーチームにも所属し、毎週練習に通っています。上手になったかどうかは？ですが、私にとってバレーボールは生活の一部となり、楽しく大好きなスポーツとなりました。これからも体力の続く限り、頑張っていきたいと思えます。又、10校区のバレーボールチームやPTAバレーで出会った皆様にも心から感謝しています。ありがとうございました。

卓球での喜び  
卓球クラブ  
黒木 臺子(5組)

「金曜日の夜は卓球...」そんな生活を楽しんでいます。卓球だけが楽しい訳じゃなくて仲間同士のお喋り、ひと汗かいた後のグイッと一杯...これらあつての楽しみです。



卓球部員が大活躍し男女総合優勝しました。H12。

主婦にとっては「なにかを始める」=「忙しくなる」ことでもあります。が、「充実」という形で我が心に返ってきていると感じております。おまけに近くに孫がいるお陰で「暇」とは無縁の生活を送っております。

近所で好きな卓球が気軽に出来ることに喜びを覚えております。小さいながらもスピードのある白球を追えるあいだは皆と一緒に頑張っていると思っております。チームの皆さん、これからも宜しくお願い致します。そして、これからはじめたいと思われる方大歓迎です。

"スポーツ"  
卓球クラブ  
中野 幸子(3組)

秋も日増に深まり、スポーツによい季節となりました。

私が卓球クラブに入りまして5年目になります。現在部員は十数人で、毎週楽しく練習をして、好い汗を流しております。お気軽に一度見にきて下さい。卓球は健康に、ストレス解消にもなります、一度やってみませんか。男女を問わず、一人でも多くの人に入っていただくようお願いいたします。毎週金曜日午後7時から9時まで、池田東小学校、体育館において練習しております。卓球クラブ一同、お待ちしております。

一泊二日の合宿も  
池田東体振バドミントン同好会  
小田 伸(15組)

私たち池田東体振バドミントン同好会は、今年で創立14年目を迎えました。現在会員は24名で、その内の男性3名、女性4名が御霊ヶ下町に住んでいます。

練習は、毎週金曜日と、第2、第4土曜日の19時から21時、第3日曜日は10時から17時まで、なんと7時間も頑張っています。特に日曜日は、



和気あいあいがモットーのバドミントン同好会。

宇治をはじめ伏見、山科各学区のバドミントン愛好会の人達も来て下さいますので、指導してもらったり、対戦してもらったりして汗を流し、交流を深めております。

3、4年前より、京都市、宇治市、城陽市などの年間10数回ある試合にも参加するようになってきました。試合はダブルスなので、お互いのパートナーを信頼し、カバーし合うよう努力し日々練習しています。戦歴も回を重ねる度により成果をおさめています。3月には伏見の学区による「伏見大会」を役員持ち回りで開催し、春には一泊二日の合宿もしています。去年と今年は日吉町にできた体育館で行いました。外部からの参加者を含めると、総勢30名近い人達が2日間和気あいあいとバドミントンを楽しみ、とても好評でした。

また最近では、現在京都ナンバーワンといわれている方が校区に引っ越して来られ、体育館へもたまに顔を出して下さいますので、上級者のプレーを目の当たりに見られたり、アドバイスを受けられたりと、とても勉強になります。

年齢も20代前半から60代までと幅広いですが、みんなバドミントンが好きで好きで、時間の許す限り練習に試合に参加したいという思いでいっぱい会員ばかりです。

バドミントンを愛する方、以前やっておられた方、やりたいと思われている方、会員募集中です。入会をお待ちしております。一度練習日に体育館に来ていただければけっこうです。

## 21世紀へ向かって

ホップ(10年)・ステップ(20年)・ジャンプ(30年)!!

体育部部长

滝口 信政(10組)

町内会設立30周年おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

光陰矢の如しと申しますが、私達体育部も諸先輩方のご努力ご活躍と町民一人一人のご協力のお陰で今日を迎える事ができました。過ぎ去った歩みを振り返ってみますと、秋祭りや体育祭等々で活躍していただいたお子達が今では諸々の行事催事の中心的役割りを担うまでに成長されており隔世の感を覚えます。と同時に来たる21世紀へ繋がる人材である事も間違いありません。そんな中、共に汗した綱引きに駆けっこや、親子の絆の強さを垣間見たスプーンレース、更にはご婦人の特技?を活かした風船割り、そして得点表に一喜一憂した体育祭。また白球と戯れた?いや追っかけたソフトボール大会、手の感覚のないのも忘れスパイクに情熱を傾けたバレーボール大会、そして優勝や入賞の感動。懐かしい、楽しかった思い出一杯の30年だったと思います。

21世紀も見えて来ました。この実績を礎に町内会の大いなる跳躍と歩みを共にして、町民の皆様との融和を重んじ親しまれる体育部である事を責務と心し、より一層の努力が肝要だと思えます。

最後になりましたが、“御霊ヶ下・大構町は永遠に不滅です”これも皆様あってのことです。今後とも宜しくご協力の程お願い申し上げます。



若くてど~もスイマセン。村井、滝口、山崎?さん(左から)



画期的な地域発信のホームページ

企画広報部副部長

高橋 修一（20組）

Kyoto Daigo Home Pageは、町内発信のHPとして、先進的、且つ画期的なものだったと思います。今となってはこのようなホームページ(以降HPと略します)を持つ町内も出てきていますが、HP自身が当時としては一般的にまだまだ見る人も少なく、どちらかといえば実験的段階にあったと思います。

誕生は平成9年ですが、もともとは平成8年の町内会役員の有志によって作られた「発知会」での旅行のこと。町内会長の佐治正雄氏、並びに体育部長(現、企画広報部長)の奈良磐雄氏に、町内でHPを作ったらとの提案をしたことがきっかけとなっています。

私たちの地域は、世界文化遺産にも登録された醍醐寺の膝下に位置し歴史的にも重要な位置を占めてきました。そんな中で「地域をもっと知ってもらおう、そして世界にPRしよう」と。その後、数ヶ月をかけ京都造形芸術大学の教授でITにも詳しい奈良氏の手によって制作され、地下鉄東西線が開通した平成9年10月12日に合わせて公開となりました。

HPは新聞でも取り上げられ、現在まで町内の行事や関連する記事をつぶさに掲載し多くの方にアクセスいただいている次第です。現在までのアクセス数は、3360(11/22現在)となっていますが、今後、益々増加していくものと思います。HPを開設しての反響も大きく、地域や日本という枠をも越え海外からも応援や励ましのメールをいただきました。インターネットのもつ可能性をより強く再認識するとともに、情報を発信し続ける大切さを痛感しました。

私たちの醍醐地域も地下鉄東西線の六地藏延長、パセオダイゴローの東館建設など近年、大きく変貌を遂げてきており私たち住民一人ひとりの生活環境も今後、更に変化していくことが予想されます。そんな中であって、これからより



人的交流や、心のふれ合いが大切になってくるかと思っています。

今、私たちにとって本当の意味での「心の時代」が到来しているのではないのでしょうか。この30周年という記念すべき年度にあたり、このHPが地域にとって有効で、他のお手本となるように広報担当一同、努力して参りたいと思います。最後に醍醐万歳！2001年は私たちDAIGOがNo1となる時代です。

HPのURL

<http://www.mediawars.ne.jp/~daigo01/index.html>

御霊ヶ下・大構町町内会設立30周年記念に当たっての、足跡と随想

保健衛生部部長

中山 修（4組）

今年もまた、紅葉を愛でながら山歩きを楽しむ季節となりました。御霊ヶ下・大構町町内会の皆様には、益々御隆盛の段何よりの事と存じます。また平素は過分な御助言を賜わり、厚くお礼申し上げます。

ところで、今年は町内会設立30周年を迎え、皆様様に心よりお祝い申し上げます。

さて、私事で申し訳ございませんが、今年の4月に保健衛生部長と言う大役を授り、責任の重大さを痛感しながら、町内会の方々の御協力と

御支援を賜り、今日を迎えさせて頂き御厚意誠にありがとうございます。

就きましては、御承知の通り町内には、三箇所の公園がありますが、目を見張る思いでした。塵の散乱、並びに、故意による水道の破裂、又周囲の犬猫の糞、等々、千思万考に感じます。残りの公園も同様に思います。

お願いとして、生ゴミについては十分水分を切ってゴミに出す、置いている場所の家の方々に、迷惑にならぬように心掛けて欲しいと念じる次第です。また、所々に犬猫の糞の後始末の看板を沢山目に致しますが、私達以外の心ある方々だと思いますが本当に有り難い事です。紙面に御礼申し上げます。

町内を綺麗にするには、自分は勿論の事お役目関係なく一人一人が気をつけて、21世紀に向けて邁進して行きたいと願う今日です。

それに、醍醐山に抱かれた周囲には、寺院も多く素晴らしい環境と世界文化遺産に指定されている名所もあり、交通網も便利に成り風光明媚な拠り所に感謝し、極致を愛し、醍醐味に負けぬような町内会になればと念じる次第です。

また、目標に向かって、自分達の身辺から手掛けて、先ず、汚さない、散らかさない、犬猫の糞は飼い主の方が必ず持ち帰る。を『スローガン』に掲げて行きたいと切に願っている次第です。私事、若輩者ではございますが、今後ともお力添えの賜りますようお願い、末筆ながら皆様方の一掃の御清栄を衷心よりお祈り致します。

先ずは、お願いと町内会発足30周年のお祝の言葉とさせて頂きます。



子供の視点から見ると...

交通部部長

村井 博夫(12組)

この町内の記念の年に交通部長をしています。交通では母と子の交通安全教室で自転車の乗り方、ルール、マナーを学びました。いつも車を運転する側からしか見ていなかったのが、子供の視点から見るとかなり違ってきて最近の交通問題を抱えている様な気がしました。車に乗る私としては、せめて交差点付近の駐車は避けたいものです。



行事参加についてですが、子供、家族の生活の多様化、価値観の違いなどにより、だいぶ少なくなっている気がします。

今年の交通部会は、3組小山様、7組千種様、21組森様、26組大久保様、27組篠原様、そして私です。それぞれユニークで、楽しい人達です。ここぞというとき力を発揮していただき、それなりに頑張っていると思います。後少しですがよろしくお祈りします。

最後に、御霊ヶ下・大構町内会のさらなる発展と、子供達の明るい21世紀になる様に！！お祈りしています。

---

災害は他人事ではなく自分事

自主防災部部长

竹村 栄晃(16組)

「朝には一言寺の鐘、夜には夜回りの拍子木の音が響く」。これが、御霊ヶ下・大構町の毎日の



油圧ジャッキを使って倒れたブロック塀を浮かす訓練。

「音の風景」です。夜回りは町内が出来てから、会員の皆様の協力により毎晩続けられています。30年間のご苦勞をねぎらいたと思います。自主防災部の毎年の行事としては、主に町内の防火訓練と池田東学区総合防災訓練があります。防火訓練は例年6月頃に実施しています。醍醐消防分署にお願いして、中央公園で消火実験や防火についての座談会をやっていただいています。同時に、池田東自主防災会のご協力で消火器の詰替えをしています。現在、町内には全部で30ヶ所余りに消火器が設置してあります。お近くの消火器の場所を是非ご確認下さい。なお、昨年からは順次、ひっくり返して使用する泡の消火器から、安全ピンをはずしレバーを握って使う粉末の消火器に交換しています。あと3年ですべて粉末の消火器になる予定です。次に、例年11月23日の勤勞感謝の日に、総合防災訓練が行われています。5年前の阪神・淡路大震災のような大規模地震を想定して、まず町内の避難場所である中央公園に集合後、旗を先頭に避難経路にしたがって池田東小学校まで行き、グラウンドで油圧ジャッキや担架の組立操作などの訓練をしてもらいます。

いつ災害に見舞われるか、わかりません。いざという時に迅速に適切な対応をすべく、各家庭でも十分な備えが必要です。また、自主防災部といたしましても、今後とも防災意識の向上に努めて、「防災マップ」の作成などを通じて、安心して暮らせる町作りに貢献していきたいと考えています。

町内会と体育振興会と私  
池田東体育振興会副会長  
羽者家 実（26組）

町内会設立30周年を心からお祝い申し上げます。私が当町内に引っ越して来ましてのは昭和47年の2月でございます。当時の町内会の役員が誰だったかは全く知りません。それ位町内会とは無縁の典型的なサラリーマンでした。昭和51年の3月に現住居に移転したのを切っ掛けに町内会の行事に参加する様になりました。最初の行事は池田体育振興会主催のソフトボール大会です。その時私が所属したチームは大変調子よく、確かベスト4まで勝ち進んだ記憶がございます。そしてその打ち上げ会でチームメイト、又町内会の役員の方々と知り合い、親睦を深める事が出来たことが私の考え方を大きく変えた訳です。そしてこの年のソフトボール同好会の結成には最初から参画し、発足したのが現在の同好会です。昭和55年2月に町内会より体育振興会の役を引き受けて欲しいと要請があり、お引き受けをして現在に至って居ります。当初は池田体育振興会で5年間活動し、池田東体育振興会が独立し16年、通算21年間学区民の皆様にはスポーツを通じ親睦を深めて頂き、地域の発展の為お手伝いをして居ります。20世紀もあと僅か、新しい時代21世紀が来ます。いつの時代でもスポーツは欠かせないと思います。幸い醍醐地域には京都市教育委員会の日野野外活動施設があり、又地元専用の仮設グラウンドもございます。



バレーボール大会で優勝したチームの記念写真。S61年。



醍醐ソフト球友会 秋期大会優勝チーム。S54.11.4。

池田東小学校には夜間照明が設置され、来年の4月1日より使用できます。この様大変恵まれた地域でございます。目的に合わせ施設を選びスポーツを大いに楽しんで頂くため私はお手伝い致します。是非ご利用頂きます様お待ちしております。

少補委員は子供さんのいる家庭から  
少年補導委員会  
西島 謙二(18組)

町内会誕生30周年お喜び申し上げます。日頃は町内の発展と親睦にと歴代の役員様。現会長初め役員、組長の皆さんお世話戴き大変御苦労さまです。さて池田東少年補導の活動報告とこれから伸びゆく子供達へ取り組む姿勢として、私が実行し実感したことをご報告します。町内から少年補導本部に推薦されはやくも4年になります。今年から21組の森昭二さんが本部に加わり町内組長さん5人とで微力ながら頑張っております。ご存じのように少年補導の役割は子供さんと共に行動し愛情ある思いやり、そして情熱ある行動力を基本に行っています。市内でも山科区域、我々の池田東の少補は積極的に群を

抜いた活動を行っていますので行事活動の一部を知って下さい。

毎月定例会、ソフトボール、夏祭り、夏の夜間パトロール、ドッチボール、ソフト山科大会、市内パレード、子供みこし作り、キャンプ、醍醐ふれあい祭り、京都祭り、池田東祭り、もちつき大会、冬期パトロール、他に三宝院地域を春秋に清掃、運動会、練習、各準備と数多くの予定があります。我々は常に愛情と情熱と勇気を持って、明るい醍醐の町づくり、元気な少年の町へと願っています。年々増える少年の犯罪といじめ問題を無くすために少年補導の役割は重要です。本部役員会でもよく出る話で、池田東7町内どの町内も年齢層は高く、子供達とのギャップもあり大変だと思います。私の実感として、我が町内も高齢家庭が多いとはいえ、実際に小学・中学の子供さんのいる家庭から2～3人の委員の選出が理想と思います。当町内も子供さんの居る役員はいないのが現状です。

13年度の組長選出の際、少補委員は子供さんのいる家庭から出来る限りお願いします...、少補と子供が身近な環境づくりの為に宜しく。

私は『本部役員4年と、祭り委員3年』を務めさせて頂き、ご協力有り難うございました。



### 30 御霊ヶ下・大構町

いつまでも安心して住める御霊ヶ下・大構町  
防犯推進委員

細木 吉武(27組)

今まで地域のお付き合いもあまりなかったので、町内の事は何も知らない私に、平成6年に組長と町内会長の大役がいきなり当り、皆様の御協力をいただきながら無我夢中で、なんとか努めさせて頂きました。その年から警察の「連絡員」が「防犯推進委員」と替わり、当町内に1名増員される事になりましたので、兼務して現在に至っております。学区の夏祭り、秋祭り、防犯の諸行事、少年補導の夏休み、冬休み中のパトロール等に参加致しております。御霊ヶ下町、大構町をパトロールしていて、路上駐車は多少目に付くのですが、比較的平穩で静かな町内やなぁと思っておりますが、昨年は近くで学区で凶悪事件が発生し、皆様も大変心配された事と思います。また大阪では、ひったくりや窃盗事件が多発している様ですので、あまり安心はしていただけないと思います。御霊ヶ下町には昭和60年からお世話になっていますが、それ以前から、夜回りを町内全戸の皆様で続けて現在に至っており、皆様全員の防犯に対する心構えにより、いつまでも安心して住める御霊ヶ下・大構町になると思います。

---

祭りで思い出づくりを！！

祭実行委員

小林 護(10組)

町内会設立30周年おめでとうございます。私も御霊ヶ下町に住み始めて約27年になります。長い様で昨日のように感じております。記念年を迎え、あらためて自分の人生を振り返らせていただきました。転入当時は町名になかなかなくなくて“ゴレイガシタチョウ”と云ってしまい、周囲の人から“ゴリョウガシタチョウ”だよとよく言われたものでした。今では他の地域の人が「ゴレイガシタチョウ」と云われると違和感



「ワッショイワッショイ」のかけ声でねりあるくこども神輿。

を持ち、訂正したくなります。また、当時4歳と8歳だった娘も今は結婚し子供の親となっております。その娘達がときどき私共の家に来る時の会話に、「御霊ヶ下町の実家に行く時は…」とか「実家の御霊ヶ下町では…」と云った言葉を耳にしますが、そのたびに、娘達なりの故郷として心の中に御霊ヶ下町があるのではないかと感じております。今日まで健康で明るく無事過ごさせていただいたのも地域の皆様のおかげと感謝しつつ、今後も思い出多い故郷となるように、微力ながら祭実行委員を努めさせていただく所存です。秋祭では「ワッショイ、ワッショイ」と本神輿、子供神輿とで各町内を巡行します。どこの町内も元気ですが、特に御霊ヶ下・大構町は元気で明るく、大勢の参加で楽しく、誇らしげに思い、今さらながら役員の方々のご苦勞に感謝しております。また、子供神輿で幼児の祭り姿には格別のものがあります。小さな祥天に豆絞りのハチマキ姿、全身で大声をあげて「ワッショイ、ワッショイ」と、本当に微笑ましいかぎり、その光景を見る度に私達大人はこの子供達に次の世代、21世紀に何を残してあげられるのだろうかと考えさせられます。それには色々ある中で、『夏祭り』・『秋祭り』を益々盛り立てて、その時期がくれば町内の家々の玄関先に祭提灯がずらりと並ぶよう、皆さんと一緒に楽しく明るく思い出多い町内会にして行きたいと願っております。なにぶんにもよろしく願い申し上げます。ありがとうございました。

災害のない“わが町”をめざして  
醍醐池田消防分団副団長  
中村 武司(28組)

町内会設立30周年、一つの通過点とはいえ、先輩方の多大の努力に敬意を表します。

私は13年前、醍醐池田消防分団に入団しました。今日まで分団活動が続けてくる事ができたのは、先輩方の親切な指導の賜物です。

醍醐池田消防分団の器具庫は栗陵中学校の校内西側敷地内にあり、防火活動に必要な器具が整備されており、また分団活動の拠点ともなっています。

消防分団の仕事は、地域の方々との結びつきを強め、防火啓蒙活動をすすめること、命や家財を災害から守ること、それらの活動を通じて明るい住みよい町づくりに役立つことです。たとえば毎月5日と20日の無火災推進日の巡回広報や年末特別警備、自主防災会との相互協力などで、防火活動形態はさまざまです。

年間を通してみますと、いまだ不審火による火災が私達の地域で少なからず発生しています。災害を減らすことを大きな目標に粘り強い努力が必要です。

さていよいよ新世紀です。私達の町、家庭を守る為に消防分団に入りませんか。

あなたの力を地域防火に役立たせて下さい。

分団の活動区域は池田東、池田の両学区内です。18歳以上で区域内に住んでいる人が勤めている人なら男女を問いません。毎月、5日と20日の夜8時30分から分団器具庫を開けており、消防分団員が集まっております。

ぜひ気軽にお立ち寄り下さい。

醍醐池田消防分団 電話番号：572-6622



住んでよかった町内  
池田東地域女性会会長  
四宮 富子(23組)

2000年、大きな節目の年に御霊ヶ下・大構町内会が設立30周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。今巷では盛んに「住んで良かった町づくり」と言われています。御霊ヶ下・大構町内会におかれましては、団結した町内会、まさに「住んで良かった町内」が確立されているのではないかと存じます。明るい地域づくりを目指した町内会活動(地藏盆・敬老会・体育祭・公園清掃等々)その都度、会長さんの指示の下、組長さんのご協力で、大きな成果が積み重なり、今日の発展した町内会があると敬服致しております。

私達女性会も、地域においては「ぬくもりのある地域づくり」を第一の活動目標に、発足10年目に入ります。社会教育団体で、組織活動問題を中心に常に学習研修しながら、活動はすべてボランティアとして取り組んでおります。男女共同参画社会の実現を目指し、池田東小学校を中心とした御霊ヶ下・大構町内会、自治町内連合会、体育振興会、少年補導委員会の理解あるパートナーシップを以て、実戦活動は順調に成果を挙げております。特に子供達、高齢者の方達との交流は、回を重ねる毎に深まり、最近では真栄会、富田団地の老人会の方々にご参加頂き、いきいきサタデーの行事にゲートボール、グランドゴルフのご指導を受け、また新しい楽しい輪が広がりつつあります。女性会も含め、高齢化が進んでいます。いくら福祉が充実しても、やはり一番身近にお世話になるのはご近所の方々ではないでしょうか。常に仲良く親しくおつき合いを続けたいものです。そして若年層の方には、町内会活動に参加され、いきいきとした風を送り込んで下さる事を切望します。最後になりましたが、住み良い町内としますますのご発展と、町内の皆様のご健康を祈念申し上げます。

高齢者社会に向けての取り組み

真栄会会長

佐々木 保（15組）

今世紀最後の2000年という記念すべき節目の年に、町内会設立30周年を迎えられ誠にありがとうございます。

設立当時町内戸数は、現在の約20%であったと伺っておりますが、この間年々戸数も増え順番に回ってくる組長さんもそれぞれ3～4回と経験され、かつ、努力されてこのように立派な町内会として発展し今日に至ったものと存じております。

また、この長い間に亘って年令構成も積年とともに高齢化してまいっております。

また、その反面核家族化が急速に進み、その上さらに小子化も重なって、年々若年層の減少が顕著になってまいりました。

このような高齢化に伴って、近年介護保険制度を初め高齢者の福祉問題が大きく取り上げられるようになり、各自が残りの人生を心身共に、いかに健康でおられるかが切実な問題であると思っております。

人は孤独では生きられません、仏教語で人との出会いを縁と言い、血縁、地縁、学縁、職縁などの緒相を他生の縁と言われております。

また、最近の社会傾向として「第3の家族」が広く浸透しつつあると言われております。

これは、二世帯の同居家族が少なくなっており、

おのずから身内の者と疎遠になる事によって、必然的に高齢者同志が家族のように親しく付き合っていく事を言っていると思っております。

このように高齢化が徐々に進行してきた時代の昭和57年に60歳以上を対象に高齢者の集いとして『余生を真実に生き、生涯を栄えあるものにする』を趣旨の元に「真栄会」と称して発足以来今年で18年を迎えております。

この間、町内会の暖かいご支援は基より、町内皆様のご理解とご協力によって、現在83名の会員でもって、和と健康づくりのためにスポーツや趣味を通じて、連帯とリフレッシュを図っておりますとともに、町内会の諸行事や環境美化運動などにも積極的に参加しております。

今後さらに町内会の益々の発展と、町内皆様のご健勝を心から祈念致しますとともに、これからも宜しくお願い申し上げます。

終りに一言お願い・・・真栄会に加入されていない60歳以上の方は、この機会に是非ご加入頂きますよう拙文を通じてお願い致します。

---

陵友（霊友）ソフトボール同好会の歩み

陵友ソフトボール同好会会長

山崎 勲（21組）

<昭和52年6月>（故）金子文一氏、佐村淳氏の音頭でスポーツ同好会組織を作りたいと提案。野球好き同士を口コミで集める。最初16名程が集まり僧尊坊の割烹「丸悟」で会議を行う。



真栄会の「歩こう会」で宇治川周辺を散策。H11.5.17。

互いになまえも解らないままグラウンドでの練習。  
個々の技量を確かめ合う。

<昭和53年> 第2回「丸悟」での集会に31名  
が集まりようやくチーム作り。同好会として結  
成。町内会長山村氏、副会長佐治氏に大いに喜  
んで頂き、町内として協力を得て霊友ソフトボ  
ール同好会として発足する。

(会則・目的) ソフトボールを通じ健康と忍耐、  
努力、根性の精神を教示し、町内の融和を図る  
と共に、会員相互の親睦を目的とする。その他  
ユニフォームを作りチームAB割を終了する。

<昭和54年> 洛東、伏見地域での本格的球友  
連盟に入会する。同好会初のリクレーションと  
して家族連れで三重県へ潮干狩り、バス2台で1  
日を楽しむ。

<昭和55年> チームリーダーとしての広瀬さ  
さんの指導でチームはまとまり、連戦連勝で投打  
とも全盛期に向う。日朝親善試合に選抜招待さ  
れる。

<昭和56年> 強すぎる霊友同好会。対戦相手  
はレイウウとしか読めないらしいので霊友から  
陵友にチーム名を変える。55年からの3年間A  
チームは53勝12敗、Bチームは28勝36敗の戦績  
を残した。特筆すればAチーム森根氏は22試合  
でホームラン26本、打点67点。投では深尾氏は  
3年間で51勝8敗231分けと、いかに強力な打線  
と堅い守備であったか公式記録残っており、野  
球を知る方はよく解っていただけたと思います。

<昭和59年> 醍醐ソフトボール親睦会を結成、  
2チーム登録する。62年まで優勝を争うチーム  
として活躍する。全京都大会に3回出場するが  
ベスト8にとどかず残念。

<昭和63年> 同好会10周年記念 三宝院観桜  
会で開催。

<平成8年> 同好会20周年記念 プラザホテ  
ルで開催。

歴代会長

昭和52年 北村信八 代表

昭和53年 佐治正雄 代表

昭和54年～59年 滝口信政 会長

昭和60年～平成4年 深尾信夫 会長

平成5年～6年 広瀬信和 会長

平成7年～ 山崎 勲 会長

本年、町内会は30周年を迎えられおめでとうご  
ざいます。

陵友ソフト同好会も町内の歩みと共に25年を迎  
えております。当初はなも知らぬ顔も解らぬ苦  
節の時があったと思いますが、先輩諸氏の努力  
の賜物で立派になった同好会を運営しています。  
多い時には45名からの会員もいましたが、今ま  
で何のいざこざも無く仲良く、勝てば祝杯、負  
けても反省会と親睦をはかり同好会の誇りとし  
ています。70歳を間近に現役プレイヤーとして  
元気にプレイしておられる会員さんと、孫ほど  
ちがう若人とが同じグラウンドで楽しんでいる好  
きもの同志の集団です。

ここに同好会25年の歴史を受け継ぎ、今我々二  
世が親睦会リーグで優勝を争うチームとして活  
躍しています。21世紀に向い立派な同好会の歴  
史を作りたいと思います。

---

吉松 照明 (23組)

多分この記録は残っていないと思いますし、30  
年も前のことなので自分でも記憶が正しいのか  
どうかも疑問に思っています。従って本文に入  
る前に私のことを少し説明しておかないといけ  
ないと思い、蛇足ながら余計な文章から始めさ  
せていただきます。

私達は町内第一号の代表選手だった

私はいわゆる『よそもん』で、この町内に家を  
建てることになった一年半程前に、神戸にあっ  
た某会社を退職して、ご縁があって西陣関係の  
会社にお世話になるようになりました。そして  
醍醐北団地に借家住まいをしていました。当時



40歳代はいわゆる働き盛りで、それこそ仕事一筋の働き盛りで（借金の都合もありましたが）正直な話町内の事とか地域の事などはほとんど眼中にありませんでした。不勉強なことですが京都の事や学区制度など全く知識はありませんし、その当時の御霊ヶ下町がどこの学区に属していたのかなど全く知らなかったのです。だからこの後で書きたいと思っている『第1回醍醐地区親善ソフトボール大会』とやらが果たして『醍醐学区』だったのか全く分かっていないのです。

とにかくどんな事情だったか全く記憶に残っていませんが、当時の組長さんに無理矢理頼まれて、そのソフトボール大会への出場を引き受けました。前にも書いたように大体が仕事一本で、野球なんて終戦後の若い時に数年ほどやったぐらいで後はほとんど縁がありませんでした。従ってグローブも会社の野球部の備品を借用しました。もちろん服装なんて普段着でした。そして私だけでは無くて選ばれた人達のほとんどの人がソフトボールのボールも触ったことは無いと言う人達ばかりでした。第一そんなにして選ばれた人達の顔だって誰がどこの家の人なのか全く分からない初対面みたいなもので、私の知っていたのは同じ組の柴田さんだけでした。そんな人達が当日指定されたグラウンドで初めて顔を合わせて、適当に守備位置と打順を決めて試合に臨んだのです。

グラウンドと言っても見渡す限りの草原でした。

現在の東陵高校がまだ影も形も無い頃で、当時は東山高校がグラウンドを作る為に確保していた土地だと聞いていました。

何しろ自分のチームのことも分からないのですからよそのチームのことなど分かるはずありません。それこそ生まれて初めてソフトボールとやらを触りました。とにかく掴みきれないようなボールに戸惑いました。それでも野球のつもりでなんとか頑張ったのですが、試合の結果

は20ウン対？で、その時のルールがどうだったか分かりませんが2回の攻防が終わったところで審判がコールドゲームを宣告しました。ところが相手のチームの人が気の毒がって「一度も打順が回らなかった人にも打たせてやる」と言ってくれて補欠も含めてバッテリーボックスに立たなかった人を打たせてくれたのです。

こんなことを発表すると現役で頑張っておられる皆様にお叱りを受けそうですが、30年前にそんなことがあったのかと笑ってもらうのも面白いし、学区や地域の状況等も知って貰えるのではないかとあってあえて書かせていただきました。なお、私に出場の声がかかったのはその時だけで、その後がどうなったのか事情は全く分かりませんが、学区は池田からさらに池田東になり、今日のようにスポーツ交流も活発になって敬服の至りです。

---

発知の会会長

高地 順三（3組）

私が愛した醍醐の居酒屋

私が醍醐小栗栖に来たのは昭和50年でした。すごく田舎に来たなと思いました。しばらく経って呑み屋を探しましたが、外環状線より東側には殆どありませんでした。西側の小栗栖街道沿いに52年9月頃「根っこ」という居酒屋ができました。店の親父さんは居酒屋をやる前はタクシーに乗っていたので、料理がへたくそでした。ある時刺身を頼んで、鱗がきれいに取れていないので文句をいったら、魚が新鮮やから鱗が取りにくいといって澄ましている親父でした。私とは何だかウマが合って、3日に1度の割り合いがよく出かけました。今の御霊ヶ下町に移り住んだのは昭和57年10月で、引っ越しの時には「根っこ」の親父さんも手伝いに来てくれました。親父さんは大変釣り好きで、店が終わったあと、3時頃から日本海へよく釣りに出かけて

いました。それが祟り、脳溢血で半身不随になり、包丁が握れなくなったので、本人はひどくひがみっぽくなり、客に当たったりしたのでそのうち客が来なくなり昭和61年に店を畳んでしまいました。しばらくすると「つかさ」の後に「いそ家」ができましたが、あまり行きませんでした。昭和58年には近くに「お食事処内田」ができ、よく知っていたので毎日のように顔を出していました。その頃よく佐治会長と顔を合わすようになりました。天麩羅茶漬が美味しかったのですが、3年か4年で閉店しました。やはりまだ東側で店を出すのが早かったのかと思います。その間にも「玄海」とかいろいろな店ができましたが、残っているのは「味満政」だけです。西側には平成元年「かじこ」ができました。公団と府営住宅の間のわかりにくい場所ですが、こじんまりとした居酒屋と寿司の店です。ここの親父さんは観月荘で板前をしていたのでなかなか良い料理を出してくれました。いつもニコニコしている親父さんです。2回目に店に行ったその日に、家でふぐ鍋をしたいのでふぐを買って来てくれと頼んだら、嫌そうな顔をしていましたが、買って来てくれたので、それからはよく行くようになりました。平成10年12月には「ためき茶屋」ができ、平田君とよく行きましたが、残念なことになってしまいました。

発知の会の発足と、メンバーの紹介です。

今年は醍醐御霊ヶ下・大構町 町内会設立30周年を迎え、おめでとうございます。

私達の「発知の会」のメンバーは平成8年度の町内会の役員9人です。年度が終わりお役御免になったのですが、余りにもウマが合っこのまま解散するのが惜しいということで、月に一度例会を開いて酒を呑みながら、町内の行事の事を話し合おうと発足しました。又、年に一度の泊旅行もしています。そして、奥さん方は「すみれ会」と称して年に一度、親父のおごり

でお食事会を開いています。

発知の会会則

- 1.会員は御霊ヶ下・大構町在住の者に限る。
- 1.会員は地域の発展に努めなければならない。
- 1.会員は町内行事に率先して参加しなければならない。

奈良 竜太(5組)

少年の心

一番に頭に浮かぶ事

「先生に怒られる」

何をするにしても それは全部そうなのだ

ランドセルをしよう

宿題する

キライな給食を食う

そして寄り道をせずに帰る

校区内 でもそこは校区外

僕をくすぶらせるものはいつもそこにある

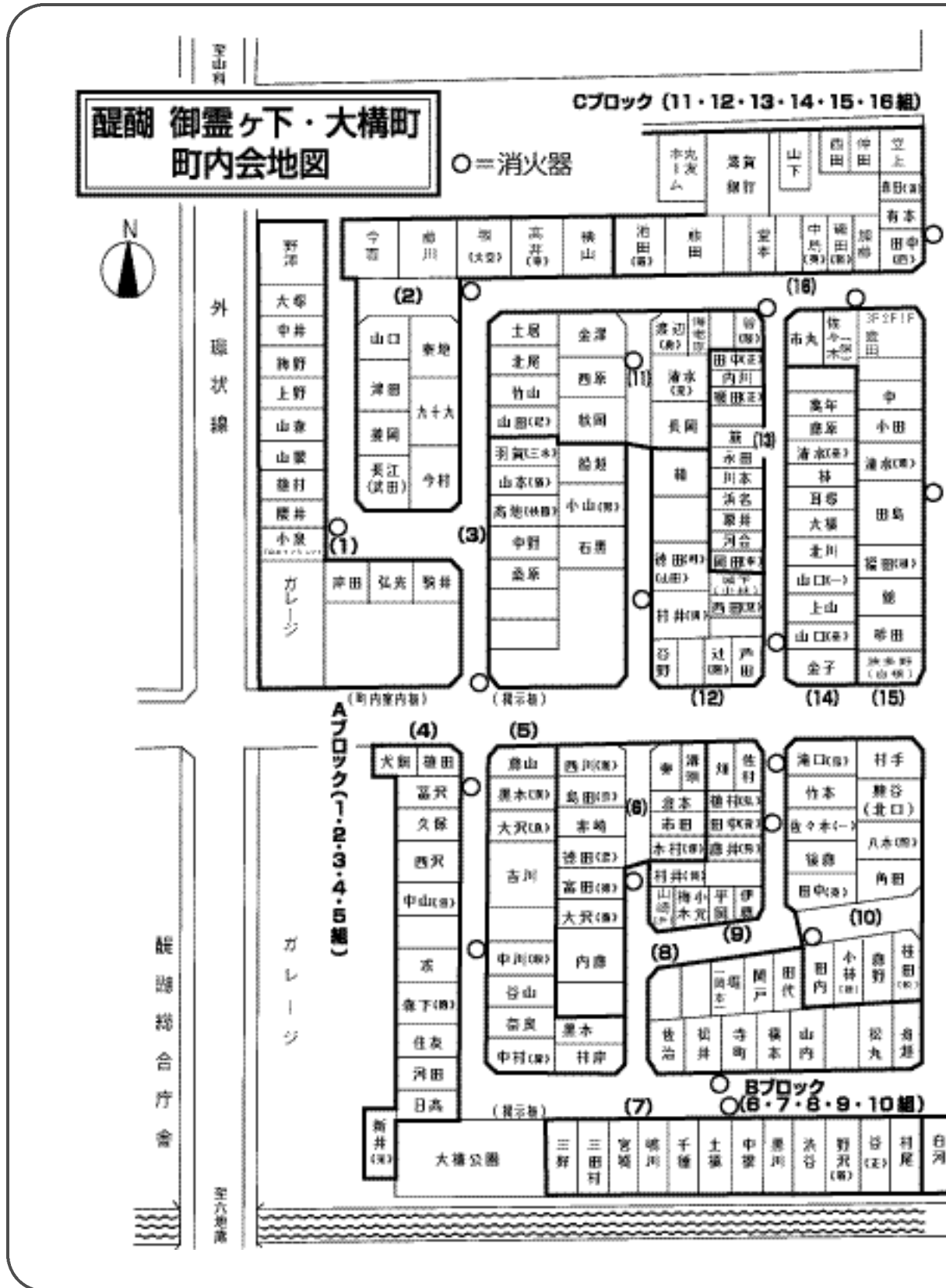
けれど・・・

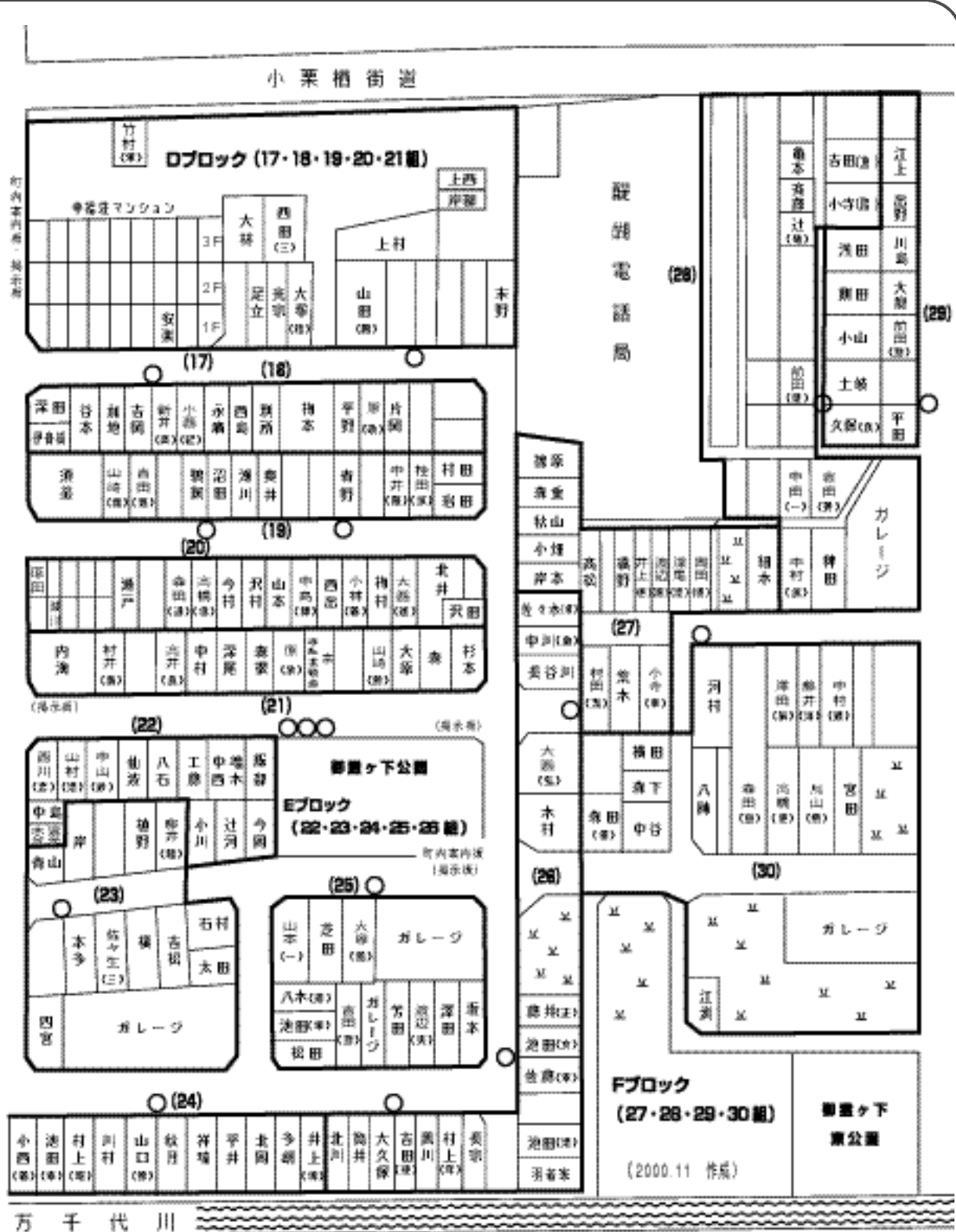
一番頭に浮かぶ事

「先生に怒られる」・・・かも・・・



地藏盆では松田氏の発案で未来トンネルを製作。H12.8.20.





### 30 御霊ヶ下・大構町

平成12年度 御霊ヶ下・大構町 町内会 役員名簿

役 職	氏 名
会 長	佐治正雄
Aブロック副会長	大沢良男
Bブロック副会長	土橋隆夫 (A.B.Cブロック長)
Cブロック副会長	海老原武
Dブロック副会長	奥井俊孝 (D.E.Fブロック長)
Eブロック副会長	池田幸雄
Fブロック副会長	久保良定
総務部 部 長	深尾信夫
総 務 部	桂田武幸 桂田和彦 竹村栄晃
会 計 部 長	高橋修一
体育部 部 長	滝口信政
体育部 副部長	長江誠史 中山妙子
体育部 部長補佐	植村真一
企画・広報部部長	奈良磐雄
企画・広報部副部長	高橋修一 増木博一
保健衛生部部長	中山 修
自主防災部部長	竹村栄晃
交通部 部 長	村井博夫
少年補導代表	千種利志子
少年補導本部	西島謙二 森 昭二
少年補導委員	小山邦男 村井博夫 大久保清道 篠原速男
体 振 本 部	羽作家 実 中村靖史
体 振 指 導 員	増木博一
体 振 委 員	寺町和之 田島 繁 隈井健司 植村 弘
自主防災会本部	井上博司 大庭信善
祭実行委員	小林 護、西島謙二
会 計 監 査	高地順三 藤野勝也
市政協力委員	高地順三、藤野勝也、桂田武幸 北岡政治、佐治正雄、平田耕司 海老原武
民政児童委員	坂本佳子 石黒元子
防犯推進委員	佐治正雄、細木吉武 (敬称略)



あとがき

20世紀最後の年に町内会30周年という記念すべき年が重なり  
ました。このめでたい節目の年を記念する冊子を作ることが  
総会で決まり、さあ大変…。どんな内容にしようかと編集委  
員会で話し合った結果、出来るだけ多くの会員の方に30年の  
歴史の一コマを書いて頂き、1冊を通読すれば町内会のイメ  
ージが読み取れるものにしよう決めました。回覧で原稿募集  
のお願いをしましたが、数名の方の応募にとどまりましたの  
で、改めて指名をさせて頂き、ご協力の結果、この1冊を作る  
に至りました。会員みんなで30年の足跡を疑似体験し、21世  
紀に漕ぎ出す力を共有する材料になれば万歳です。  
ご協力ありがとうございました。

記念誌編集委員長 奈良磐雄

#### 御霊ヶ下・大構町 町内会設立30周年記念誌

平成12年(2000年)12月20日発行

発 行 者 佐治正雄

編集委員長 奈良磐雄

編 集 委 員 奥井俊孝 高橋修一 竹村栄晃 土橋隆夫  
深尾信夫 増木博一 (五十音順・敬称略)

